

迎  
春

廿日市市

# シルバーだより

平成29年1月1日 第56号



大野：大頭神社と烏神(うじん)太鼓

正会員 会員数  
男 性 747人  
女 性 566人  
(28年12月10日現在) 181人

全国シルバー会員100万人  
※ 当センターでは1010人以上の会員獲得を目指しています。

編集・発行

公益社団法人 廿日市市シルバー人材センター

〒738-0023

廿日市市下平良1-1-5

電話 0829-20-1468 FAX 0829-20-1470

ホームページ <http://webc.sjc.ne.jp/hatukaichi/>



広報・福利厚生部会

⇒チエブクロー（シルバー人材センター「ゆるキャラ」デザイン）



## 新年のごあいさつ



理事長 岡崎 美弥子

夢サロン製作 干支 「鶏」



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族揃ってお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、地震国日本とはいえ熊本地震・鳥取県中部地震の発生により、未だ避難生活を余儀なくされておられる方も多く、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興を祈りたいと思います。

5月には、米大統領オバマ氏が現職大統領として初めての広島訪問により、被爆国の首脳がそろって「核軍縮の機運」を国際社会に発信され、歴史的感動の実現となりました。また地元、広島での感動は、広島東洋カープの25年ぶりのリーグ優勝で、地元内外の多くのファンによる活気みなぎる応援が、夢の実現を果たしてくれました。続く暮れの、世界を驚かせたドナルド・トランプ氏の米大統領当選結果は、米景気を刺激し、日本経済のドル安・円高転換への懸念と先行き不透明な世界経済にも繋がりそうです。

安倍内閣の施政方針の中で「一億総活躍社会」の実現を目指す、「強い経済」「子育て支援」「社会保障」等の検討委員会において、全国のシルバー人材センターが、積極的に職域を開拓していくことが不可欠との意見を耳にし、国を挙げての超高齢社会における高齢者対策の緊迫さを感じました。

こうした社会背景の下で、シルバー事業の根幹である高齢者が長年培った「知恵」と「経験」を地域の中で活かして社会を支援する。このことが我々シルバーに関わっている者の「大きな使命」ではないかと考えております。

厚生労働省の「生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方検討会」の中で、平成26年からの事業目標である「就業の拡大」「会員の拡大」が、引き続き事業目標の最重要課題として全国シルバー事業を挙げて取り組むこととしております。

国の今年度予算の枠組みにおいても、「高齢者活用サポート事業」等、管理予算ではなく事業推進に主軸を置いた予算であり、拠点シルバーのやる気を促す予算とし、事業の推進に努力をしてまいりたいと考えております。

今年度は、平成19年度を皮切りに策定いたしました5年を目途とした中期計画、平成33年度までのビジョン第3次中期計画をもとに、円滑な事業運営と安定した財政運営を目指し更なる事業の展開を図って参りたいと思います。

関係各位の皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

本年も皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



事務局長兼務

監

クリクリクリクリクリクリクリ

理事  
常務理事  
理事長  
理事  
事

謹んで新年の  
ご祝詞を申し上げます  
皆様のご健康とご多幸を  
役職員一同心から  
お祈りいたします

職員一同

高嶋 真二

湊田若山三舛中茶佐小川鴨上石高岡  
崎中松口浦原島木藤畠口谷羽角嶋崎  
義博秀智康和 武博廣彌孝 真美子  
惠惠浩 隆修  
則隆敏子 敬子 司子次留雄 二



## 平成29年・私は酉年（とりどし）



### 「大空へ向かって羽ばたくぞ～！！」

玖島班

国広 義之

明けましておめでとうございます。

私は、昭和20年8月6日生まれの72歳になる年男です。

生まれた朝、広島では大変な事が起きたと聞きました。廃墟の町となり、多くの人が亡くなつたと、物心がついた頃、母から聞き大変悲しんだ記憶がありました。

現在でも後遺症で苦しんでいる方がおられます。これから先、平和であつてほしいと思います。

私は、数年前、ある人にシルバー人材センターを紹介されて、現在もお世話になっております。

その中で、以前指導していただいた先輩方の教えを守り、これからシルバーセンターに入会される方に、少しでも力になれるよう頑張ります。また、基本理念をしっかりと守り、会員の皆さんとの信頼関係を保ち、絆をより一層深めてまいりたいと思います。

本年も、よろしくお願ひいたします。



### 「6回目の干支を迎えるにあたって」

廿日市班

河野 敏男

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、良いお年を迎えられたことと思います。

年齢が若いときは、一年間が長く感じたのですが、年齢を重ねるたびに、年々短く感じるこの頃です。厚生労働省が、平成28年7月に発表した国民の平均寿命は、平成27年分の簡易生命表の概況によると、男性が80.79歳、女性87.05歳となっており今年で6回目の干支を迎える年齢となるため、残り少ない日々を充実した人生が過ごせれば幸福だなと考えております。

私は、42年間の地方公務員生活、6年間の民間企業への再就職を経て、退職後は趣味のソフトボールの審判員、ゴルフ、卓球、野菜作り等で毎日を過ごしております。

健康で体力的にも自信があったため、生活の中で何か物足りないところがあり、自分のモットーである「生涯現役」で働く意欲があったため、平成25年6月にシルバー人材センターに入会し、7月から「施設管理業務」であるJR廿日市駅前駐車場に管理人として就業し、本所担当者のご指導により、班長さん以下10名で明るく、楽しく業務に励んでいます。昭和58年に開場し、長年にわたり市民の皆さんご利用され、多くの管理人が就業し、数々の思い出があり、駅前のシンボルでもあったJR廿日市駅前駐車場は、昨年10月の整備工事に伴い閉鎖され、現在、解体工事が始まっていますが、一抹の寂しさを感じております。11月からJR廿日市駅西側に新築移転した駐車場でも、業務内容も様々ですが、今後においても、利用者の方々との出会いを大切にし、皆さんに愛される駐車場を目指して、笑顔を忘れず元気で頑張りたいと思っています。



### 「年男を迎えて」

宮島班

平本 洋治

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

私は終戦の年、昭和20年に生まれます。前年の19年には、私の叔父が29歳の若さでラバウル戦死という悲惨な時代でもあり、幼い当時の記憶がよみがえります。

私の父は長男で、農業の一方、農閑期は炭焼きをしており、当時の冬は雪が幾日も振り継ぎました。4~5歳だった私の役目は、父が山から帰る夕刻、その広くて大きな背中の外套の雪を払うことでした。私は8人兄弟の三男です。当時の貧しい環境から、すぐ上の姉、すぐ下の弟を幼くして亡くしました。私自身も身体が弱かったため、家から20m離れた谷にある清水の池で、積雪の中でも毎朝、乾布摩擦で体を鍛えられつつ、長い年月が過ぎ去りました。

父は、60歳。兄は61歳で亡くなりましたが、現在私は、父や兄より10年以上も長生きができ、申し訳ない反面で、今の幸せに感謝しているこの頃です。シルバーに入って、大学の施設の管理業務で6年目を迎えます。施設を利用される平成二ヶタ生まれの学生さん達から「管理人さん、お世話になりました。ありがとうございます。」の言葉と笑顔は、一番うれしいひと時です。

今後も、社会に少しでも役立てるように頑張りたいと思います。

今年も、よろしくお願ひいたします。

平成28年第44回定期総会で新役員（理事・監事）が選任されました。



田中監事	佐藤理事	山口理事	若松理事	上羽理事	石角理事	鴨谷理事	三浦理事	川口理事	舛原理事	湊崎監事
中島理事		茶木理事	岡崎理事	高嶋理事	小畠理事	小畠理事				

平成28年6月に開かれた第44回定期総会において、「役員の選任」議案が承認され、平成30年6月までの2年間を14名の理事並びに2名の監事が任期を務めさせていただきます。（上記写真）

また、センターの役員等の構成からなる各専門部会、委員会のメンバーは下記の表のとおりです。

専門部会の「総務部会は、“会員拡大・就業拡大”」に、「普及啓発部会では、“シルバー人材センターの普及活動”」に、「広報福利厚生部会が、“広報、会員の親睦活動”」に、「女性部会では、“女性を対象とした各種の活動”」などをそれぞれ柱として取り組んで行きます。また、「安全適正就業委員会」では、“会員の安全かつ適正な就業と事故防止のための諸活動”を行います。このほか、「第三次（H29～33）中期計画策定委員会（総務・普及・広報・女性の各部会・安全委員会の長、常務理事、監事の7名）」も設置し、現在、計画の策定に取り組んでいます。なお、本年4月には、計画書として製本を予定しています。

「生涯現役社会」「ニッポン一億総活躍プラン」など、働く意欲と能力のある人々があらゆる場所で活躍する社会構築に向けては、高齢者の能力を最大限発揮するシルバー人材センターへの期待が大きく、役員一同、一丸となり、センター事業の推進に努めます。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

※センターの各専門部会・委員会の役員等構成員は次のとおりです。

総務部会 (6名)	普及啓発部会 (6名)	広報福利厚生部会 (6名)	女性部会 (10名)	安全適正就業委員会 (7名)
(長) 上羽 隆 (副) 三浦 康敬 高都持 修爾 中上 公久 中島 浩 姫野 伸幸	(長) 石角 修 (副) 若松 秀敏 遠藤 健二 白井 節昭 舛原 和子 吉川 晏	(長) 佐藤 博子 (副) 小畠 廣次 岡村 豊子 川口 満留 濱崎 豊 吉岡 文朗	(長) 山口智恵子 (副) 佐藤 博子 浅尾 サチ江 梶川 悅子 二田 純子 橋本 富久枝 藤原 貴和子 舛原 和子 三村 良子 吉野 基江	(長) 鴨谷 孝雄 (副) 茶木 武司 大原 明 門永 隆治 佐伯 あきお 田代 源一 和手 雅勝

## 平成28年中の行事・活動など

### 1月 新年の集い



62名参加



### 3月 安全講習会（ストレッチ）



### 1月 囲碁将棋



大野会場 23+廿日市会場 53+佐伯会場 34=計 110名



### 5月 植木の剪定講習会



2016/5

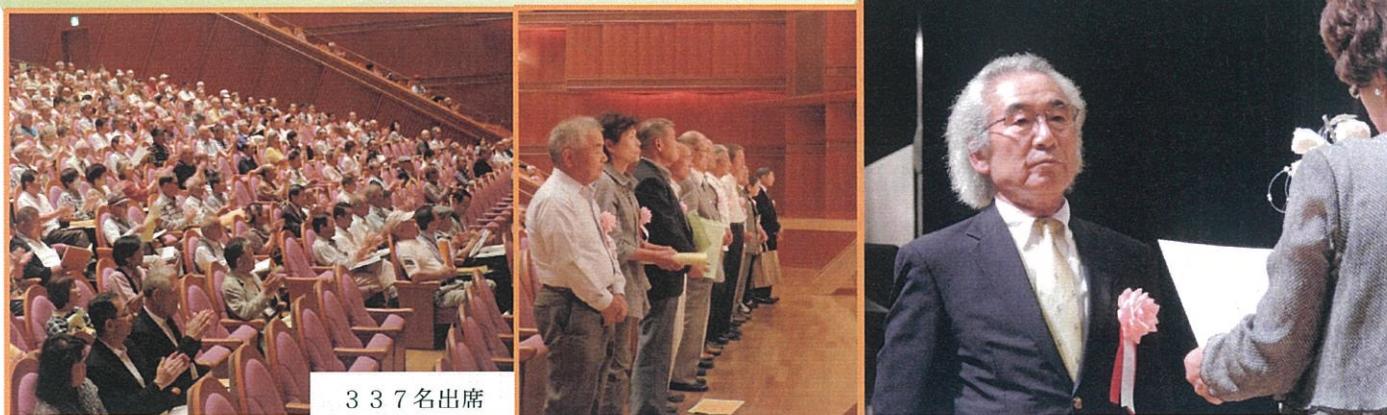


2016/5/12



2016/5/11

## 6月 44回定期総会における在籍10年功労表彰式の模様



## 10月 シルバーの日 ボランティア清掃



## 10月 全会員研修会



## 高齢者生活支え合い 事業 IN 吉和・佐伯

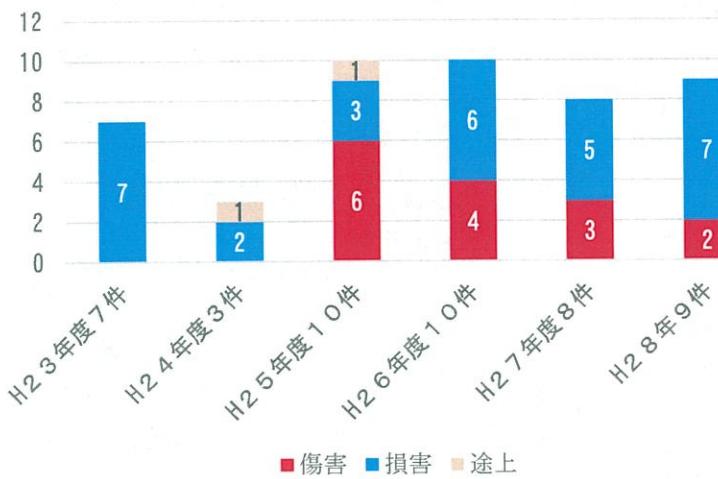
(参加56名)



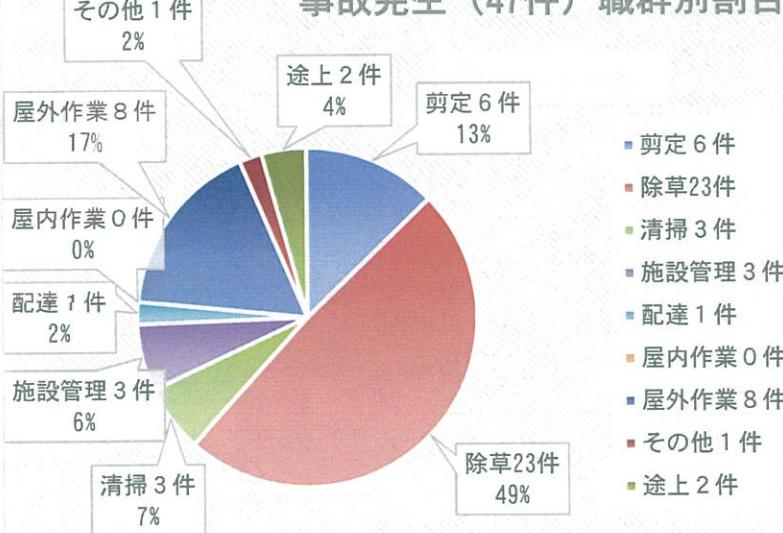


# 作業に「まつた！」“事故多発警報” 安全確認「よし！」

## 事故発生件数の推移 (H23.4~H28.11)



## 事故発生 (47件) 職群別割合



区分	傷害	損害	計
剪定	2	4	6
除草	5	18	23
清掃	1	2	3
施設管理	2	1	3
配達	1	0	1
屋内作業	0	0	0
屋外作業	4	4	8
その他	0	1	1
就業途上	1	1	2
件数合計	16	31	47

(H23.4~H28.11 の事故発生件数)

※「安全・適正就業委員会」は、安全確認と事故防止のため、会員の就業場所に「安全パトロール」を実施しています。

今年は、西日本でも寒さ厳しい冬が予想されます。寒い冬は、風邪、インフルエンザ、ノロウィルスなどウィルス性の流行に注意。家庭内では入浴中の寒暖差が引き起こす「ヒートショック（血圧変動、心筋梗塞、脳梗塞）」に十分な注意が必要です。また冬場は、火災の発生が多く、離れるときは「火の始末」を念入りに！！

本年も、事務局職員一同、よろしくお願い申し上げます。



左の表は、当センターの平成23年度から平成28年11月末までの事故発生状況を表したものです。平成24年度には3件であった事故が25年度以降は約3倍に増加しており、傷害・損害・就業途上の事故は約6年間で47件となります。この内、傷害事故は減少傾向にありますが、救急搬送による重症入院・後遺障害など、重篤事故（死亡・長期入院）の一歩手前となる事例があります。

また、事故原因では、転落・転倒などが重傷事故に至っており、特に屋外作業の剪定・除草など、作業によっては、自身を守るために安全保護具（ヘルメット、安全帯など）の着用は最低限守るべきルールです。

次に、損害（物損等）事故では、年々件数が増えており、原因は、現場周囲への不注意から安全対策を怠った事例が多く、損害金額も大きくなる傾向があります。特にグループ就業では、作業開始前に現場の状況把握と作業手順・方法の確認、役割分担など入念な打ち合わせが必須となります。

事故全体を下表の職群別割合でみると、除草が49%を占め、次いで屋外作業17%、剪定13%と続いています。屋内外を問わず、どんな作業にも危険が潜んでいます。

全国の重篤事故（死亡・長期入院）の被害者の中には、安全保護具の未着用が散見しており、こうした過失には「就業させない」など、万全の措置を講じることとしています。また、就業途上の交通事故も絶えません。

誰もが「事故は起こしたくない！遭いたくない！」と思いますが、慣れ・油断・過信が一瞬で事故を招きます。

